

# 結露センサーを用いた暖房機制御によるシソ斑点病防除

暖房機を活用した湿度制御により、難防除病害であるシソ斑点病を効果的に防除する

## 研究開発の背景

- ・施設葉ジソ栽培では、高温多湿時を中心に斑点病が発生し、大きな被害を及ぼしている。
- ・葉ジソは使用できる化学農薬が少ないうえ、収穫前使用日数も長いものも多く、一旦病害が発生すると大きな減収となる。
- ・そのため、化学農薬に頼らない、効果の高い斑点病防除技術が求められている。

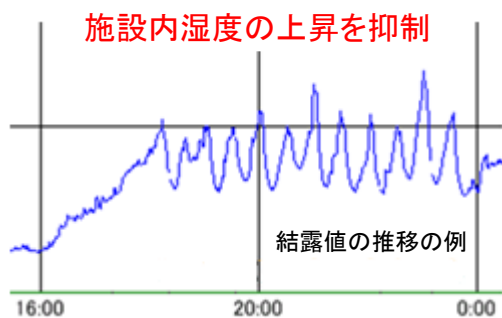
## 研究成果の内容

結露センサーと暖房機制御装置を一体化させた「病害防除コントローラー」を利用し、暖房機を制御  
結露センサー固有の「結露値」が一定値を超えないよう暖房機を制御

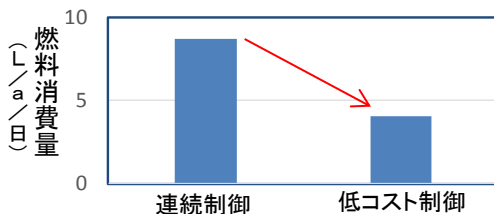


病害防除コントローラー

※本技術の内容は、高知県農業技術センターホームページの「オオバの主要病害虫総合防除マニュアル」で公開



高湿度が12時間を超える場合のみ、施設の換気を併用して湿度制御する  
低コスト制御により、燃料消費量を減少



導入メリット

## 期待される効果

- ・葉ジソの収量の向上・安定化による、生産者の所得増加。
- ・化学農薬に頼らない総合的病害防除技術の推進に貢献。

## 湿度制御により斑点病の発生を抑制

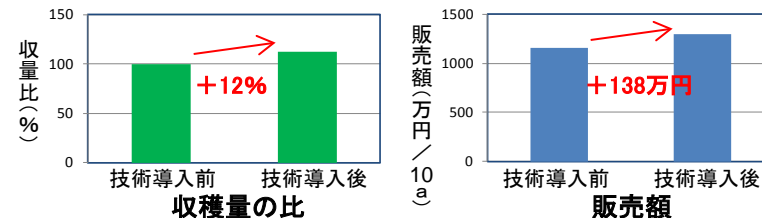


必要経費: 約83千円/10a (燃料費、減価償却費)  
→ 葉ジソの粗収益の約4% (※) に相当

斑点病で収量が4%以上減少する圃場では所得向上

(※)粗収益は高知県の3カ年平均手取り単価より算出

## 実証農家の事例



導入をオススメする対象  
施設で葉ジソを栽培する生産者